

琉球大学学術リポジトリ

日米関係（沖縄返還）10

| | |
|-------|--|
| メタデータ | 言語: Japanese 出版者: 公開日: 2019-02-13 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: - メールアドレス: 所属: |
| URL | http://hdl.handle.net/20.500.12000/43785 |

H
H
情
收

極秘

次長
参事
秘書

アメリカ局長
参事
北米第一課長

政第7539号

昭和44年9月1日

外務大臣殿

米田大使



- 要処理
- 首席事務官
- 南方
- 渉外調査
- 航空
- 協力
- 調整
- 査
- カナダ
- 局庶務



沖縄返還交渉担当者情報
 9月1日 HHカ4将北米一課長に
 述べたことあり。
 ストイ-公使に就任するカ-4少将
 はCINCPACの計画担当参謀長で
 あり、極めて早く昇進した人物である。
 政治観は保守的であるが、右の如く

GA-4

外務省

3043

これよりおぼろしい訳である。海軍の主流
 派に属し、effective communicatorである。
 信望があることよりおぼろしく、日本側
 としては、カ-4少将の如き人物を味
 方にならざるは甚だ都合の悪い
 存する。

(カ-4夫人は社交会において積極的
 な活躍振りで定評がある。)

(本件情報は本心のネーリ-の
 会長等から入手したものである)

カ-4少将の略下引渡あり。

~~本心の総領事館に報告す。~~

封

付属添付

本信写送付先

ホ/ルル

GA-4

外務省

CURTIS, Walter Louis, Jr., naval officer; b. Alhambra, N.C., July 25, 1915; s. Walter Louis and Ruth (Dorrell) C.; student U. N.C., 1932-33; B.S., Wake Forest Coll., 1936; postgrad. Gen. Line Sch., 1940-47; Insl. Coll. Armed Forces, 1957-58; m. Janet Hartz Gallagher, Dec. 7, 1950; stepchildren—Janet Gallagher (Mrs. Charles Linnon), Linda Gallagher; Comm. ensign USNR, 1937; trans. to U.S. Navy, 1940; advanced through grades to rear adm., 1965; pilot, landing signal officer U.S.S. Hornet, 1941-42; U.S.S. Princeton, 1942-44; air officer in sea U.S.S. Princeton, 1945-47; chief staff officer to comdr. Atlantic Res. Fleet, 1948-50; comdg. officer Scouting Squadron 31, 1950-52; staff officer Office Chief Naval Operations, Navy Dept., Washington, 1952-54; exec. officer U.S.S. Randolph, 1954; asst. operations officer Staff Comdr. Sixth Fleet, Mediterranean, 1955-57; assigned European Command Dir., 1958; Joint Staff Officer, Joint Chiefs Staff, 1959; Office Comm., Joint Chiefs Staff, 1960; comdr. P.S.S. Thetis Bay, 1961-62; U.S.S. Kitty Hawk, 1962-63; chief staff, aide to comdr. First Fleet, 1963-64; asst. chief naval personnel for personnel control Bur. Naval Personnel, Navy Dept., Washington, 1964-66; comdr. Carrier Dir. Nine, 1967; Decorated Bronze Star, Home: Quarters, Naval Air Station, San Diego; Office: Naval Air Station, San Diego.

特

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

大政事外務省
 事務次長 典厚
 巨官官審審長 長
 秘書文会管総
 総人電厚計
 国資長 領移長
 参調折企
 参領旅移
 参地中東
 長北西
 参北保
 中南番
 欧西東洋
 四東
 近ア長
 参審近ア
 経次総経国万
 長参質統
 経協長 参政技二
 国一理
 参余協規
 長国 参政経科
 長情内外
 文長

総番号(TA) 44298
 69年10月2日 21時00分 米 国 主管
 69年10月3日 10時42分 本 省 発着 稲長

外務大臣殿 下田 (大使) 臨時代理大使 総領事 代理

オキナワ問題 (HH情報)

第3117号 特秘 至急 (ゆう先処理)

往電第2781号に關し

1日HHより木内がちようしたところ次の通り。

1. アイチ大臣訪米により日米責任者のつめは相当進ちよくしたかに聞いているが、核の問題は大統領任せて、土だん場まで持越されるべしとの状況にはその後なんら変りない。要するに大統領としても「口」國務長官にとつて最後のしゆん問に追い込まれないと決断できないという性質の問題であるからである。しかし「核」だけについて考えるならば、いまどきその存在に固執することは時代さく誤であり、論理的には少くとも撤去を決断せざるを得ず、らつ観してよいと思つている。問題なのは核だけをシングルアウトできず、せん維であるとか、財政問題であるとか他の問題と種々ひつかりがあること。その観点からすれば決してらつ観を許されない。このままで推移するならば本件の結着をめぐり最後のしゆん問においてサトウ総理はいうに及ばず、ニクソン大統領にも大変な負担がかかるもの

外務省

特

注意

- 1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
- 2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

と思われる。11月19日からの3日間は日米双方にとり随分きつし折しよになることがけ念される。

2. 同様に未知数は米軍部である。これまでの國務省の対日せつしよは軍部を気にしながらも独走している。米軍部はとり残されている反面、無言の圧力を加えている感もする。この段階で注目しなければならないのはウィーラー参議長の訪日である。韓国、ベトナムを訪問してオキナワ問題に対する軍部の基本的考えを再確認したいところであり、また軍部としてじよう歩できる限度を見究めたいところであろう。ウィーラー議長は極めて固い、こう直した人物である。しん重、コンシステントであり、またこれはという後継者がいないため、64年から5年間も現在の要職にある。そこで余程注意しなければならないことは、同人に対する訪日中の日本側のアプローチ振りである。その人がらから同人を教育しようとかかつても無意味であり、むしろ逆効果となり得ることに留意する必要がある。従つてあれやこれやとべん解がましいことは避け、なにごともしなかつたかの如く応待するとともに、日本側の最高責任者からはオキナワとは無関係に(と申しても難しいところだが)、日本がアジアで責任を果すしゆく命にあることをインプレツスするようなアプローチがよいのではないかと思う。ウィーラーは結局は大統領の政治的決断につく従するタ

- 2 -

外務省

特

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

極秘

イブの人間だがなんとかかんとかいきながえる強じん性があることに注意しなければならない。

3. ベトナム問題で大統領の政策に対する不満はじよじよにこうじてきている。大統領としては10月をどう乗りきるかが最初の大きな山場であろう。学生は大したことはないが、やはり議会とプレスが問題である。ニクソンがベトナム論争にモラトリアムを加えようとしたこと、またグリデル上院議員とのけんかを買って出てベトナム戦終了のタイムテーブルで論争することは、かけ引き上完全な失敗である。今迄「ニクソンの戦争」となつたベトナム戦に対する彼の人気はさがることはあつても、あがることはなく、オキナワとのかね合ひでも種々はもんをもたらし、引を引きそうな問題と思う。日米共同コミニケ中ベトナムがとりあげられる場合には、タカ派、ハト派いずれの思わくにも利用されぬように留意する必要があるのではないか。

(3)

特

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

つた。同議員はヘイレズワース最高裁判事のかつぎ出し役を引き受けているところ。同判事所有の株式をめぐり、裁判官としてのインテグリティが問題化し、その任命があやうくなり、これにぼうさつされている同議員はもはやせん維どころではなくなつてしまつてゐる。「ヘ」判事は南邦せん維業界においてはその労働問題のハンドリングのため大変評判よく、業界としてはサーモンドに「ヘ」判事のかつぎ出しをたのんだのでは反ばつを招くため、民主党でしかもサーモンド議員よりかどのたたないホリングス議員に指名をやらせた経緯がある。ホリングス議員としてはとんでもない役目を引き受けたと自ら労している。ヘインズリース判事の任命が実現すればホリングス議員に関する限りせん維業界に対する借りをかえしたこととなり、輸入制限立法で激しくたらまわる度合いは多少へるかも知れない。ヘイレズワース任命の紛き^{つう}はニクソン政権にとりベトナム反戦問題とともに、オキナワをはるかにまわるきつい試練であり、同政権になつてから起きた問題としては最大の事件である。

(3)

- 3 -

外務省

極秘

特

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

大蔵省
事務次長
典厚
臣官官審審長長
儀書文会高総

総人電厚計
国資長
参調析企
参領旅移

ア 参地中東
長 北西
米 参北北保
中南
参一ニ
欧 参西東洋
長 西東

近ア
参書近ア
経 次総経国万

長 参實統
経協長 参政技二
参 国一理

参条協規
長 参政経科

長 参社専
情長 参道内外

一二

外務省

主管

米局長

訂正報

(特秘)

電信課
44.10.11

9日付米国来電才3220号(TA 45578)
オキナワ同類(HH情報)3ページ上から
5行目末尾を以下のとおり訂正願いたい。

南邦せん維業界 → 南方せん維業界

(3)

特

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

極秘

るだけに撤兵によつて南越がガタガタとなり。行く行くはカムラン、ダナン、プレイク等々オキナワにひつ適するばう大な基地を敵の手に渡すか^{あるいは}これを自らはかいしなければならぬことが目に見えているだけに到ていしのびがたいものがある。かように一部軍部には撤兵演説は止むを得ないとしてもその後はなんとかまき返しの機会が与えられるまで時間をかせぎ得ると期待しており、その間は一たんオキナワ基地にひきさがり、右に対する依存度を増大させるほかなしとの考え方が一部に出てきていると承知している。もとより、ばく然と考えられていることで、「オキナワ立てこもり構想」として具体的な計画にまでエラポレートするにも//月中旬までには間に合うべくもなく、むしろ総理訪米後、ベトナム解決までの間におを引く問題であろう。

4. かように在オキナワの後方基地に対する依存度が増えるようなことになれば、日本にとつてマイナスに作用するといふべきものかも知れないが、且且としては、軍部は冒頭に述べたとおり、また、ベトナム演説に応じたことによつても示されている通り、大統領の決断に従うほかなぬものと思つている。

(3)

特

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

電信写

極秘

も知れないが、ヴェトナムでがん張れるのか、グアム島ドクトリンでひかざるを得ないのか米側当局者が半信半疑のまま総理を御迎えするのであるから、日本側の確信ある所信説明にしたがうほかなく、また、それが大統領にとつてもリアシュアリングであると考える。

(3)

特

注意

1. 本電の取扱いは慎重を期せられたい。
2. 本電の主管変更その他については検閲班に連絡ありたい。

極秘 206

大務次官
外務次官
事務次官
参事
官房長
秘書長
文書長
庶務長
総務長
企画長
調査長
情報長
法制長
国際局長
領事局長
参事

電信写

総番号(TA) 50257
 69年11月5日20時50分 米 国 本 省
 69年11月6日11時13分 本 省

外務大臣殿 吉野 大使 (臨時代理大使) 総領事 代理

オキナワ問題 (H H情報)

第3524号 特秘 至急 (ゆう先処理)

往電第3480号に関し

本件に関しはい景、見通しにつきH Hに検討方依頼してあるが、とりあえずのH Hのコメントは次のとおり。

上院の一方的行動により行政府があわてているとすればおかし。バード議員の現地利害関係者との特殊なつながりにたんを発するとともに、トンキン湾以来上院が行政府にないがしろにされていることに対するちゆう象的反ぱつに由来する動きと見るべきであつて、その結果、批准につき同意を求める必要があるとかないとか論議することがそもも早計のように思われる。もちろん、行政府が立法府に十分のじんぎをきり、根回しをしておくことは常識的責務であり、然らざるにおいては行政府がたいまんといわれてもし方あるまい。今ここであわてるよりはれい却期間を置くべきであり、米国内部の問題にうかうか乗つてあわてられないことを御勧めしたい。いずれにしても数日間内に議会等の感觸 (これはいい加減なものから真面目なものとは異なる) につきあつてみる。

ア 参地中東
長 北 西
米 北 北 保
南 参一
欧 参西東洋
長 西 東

近 参書近ア
ア 長 次総経国万
長 参資統
経 参政技二
協 国一理
長 参条協規
経 参政経科
国 軍社専
長 参道内外
文 一 二